

法蔵館書店ニュース 8月

目次

話題の本	P1	特集1:法蔵館の伝道ポスター 第2弾 8月発売!	P12~13
法蔵館新刊案内	P2~4	特集2:法蔵館書店	
法蔵館重版案内	P4	2022年・上半期売行ベスト20	P14
法蔵館刊行予定案内	P4~5	お知らせ	P15
法蔵館書店新着案内	P6~11	法蔵館書店ベスト10 メール配信サービスご案内	P16

★お知らせ★ 8、9月の書店休業日

8月のお休み：7日・14日～16日（お盆休み）・21日・28日

9月のお休み：4日・11日・18日・25日

話題の本

●文化時報(2022/7/5)

『縮刷版 伝教大師真蹟集成』

伝教大師真蹟集成復刊委員会編
B5判・246頁・9,900円(5199)

●京都新聞(2022/7/5)

『改訂 祇園祭と戦国京都』【法蔵館文庫】

河内将芳著・文庫判・280頁・1,100円(2624)

『室町時代の祇園祭』

河内将芳著・四六判・248頁・1,980円(6263)

●中外日報(2022/7/1)

●南日本新聞[かお](2022/06/19)

『明治維新と神代三陵』

一廃仏毀釈・薩摩藩・国家神道』

窪 壮一朗著・四六判・239頁・1,870円(5567)

●月刊 同朋 7月号(2022/7/01)

『石山合戦を読み直す』

一軍記で読み解く日本史』

塩谷菊美著・四六判・272頁・2,200円(6268)

『語られた親鸞』

塩谷菊美著・四六判・315頁・3,300円(6062)

●教誌 正法 No.170(2022/7/01)

『仏教百人一首』

一万葉の歌人から宮沢賢治まで』

大角 修編著・四六判・250頁・1,540円(5717)

●学会通信 漢字之窓 第四巻第一号(2022/6/30)

『新装版 仏教語入門』

橋本芳契著・四六判・268頁・2,200円(6580)

●宗教研究 403号(2022/6/30)

●宗教民俗研究 第32号(2022/3/31)

『女人禁制の人類学』

一相撰・穢れ・ジェンダー』

鈴木正崇著・四六判・372頁・2,750円(5650)

●宗教研究 403号(2022/6/30)

『宗教性の人類学』

一近代の果てに、人は何を願うのか』

長谷千代子、別所裕介、川口幸大、藤本透子編
A5判・420頁・4,400円(5718)

『神智学と仏教』

吉永進一著・碧海寿広解題

四六判・378頁・4,400円(5564)

『対話哲学としての道元思想』

岡島秀隆著・A5判・432頁・11,000円(4567)

『近代の仏教思想と日本主義』

石井公成監修・近藤俊太郎、名和達宣編

A5判・572頁・7,150円(5560)

『親鸞とマルクス主義』

一闘争・イデオロギー・普遍性』

近藤俊太郎著・A5判・544頁・8,250円(5565)

『吉田久一とその時代』

一仏教史と社会事業史の探求』

大谷栄一、大友昌子、永岡正己、長谷川匡俊
林 淳編・A5判・552頁・5,500円(5563)

●中日・東京新聞[朝刊](2022/06/21)

『親鸞 左訓・字訓・語訓辞典』

田代俊孝編・四六判・218頁・3,300円(7027)

◆釈雲照と戒律の近代

日本仏教史研究叢書

亀山光明著・四六判・322頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-6045-3

【日本史／仏教史】

日本史上最後とされる戒律復興運動を展開した近代初期の真言宗僧・釈雲照。その事績を再検証し、近代仏教史上における意義を問い直す。

■目次

第一章 戒律主義と「国民道德」論

一 宗門改革期の釈雲照

第二章 戒律の近代

一 釈雲照における初期十善戒思想の展開

第三章 在家と十善戒

一 明治中期における仏教実践の創出に着目して

ほか

ためし読み



◆新装版 哲学は何のためにあるか

滝沢克己著・四六判・224頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6583-0

【哲学／仏教】

なぜ学ぶのか？ 人間本来のあり方への回帰を説く、アクチュアルな哲学入門が新装版として復刊。

■目次

序にかえて—なぜ学ぶか—

一 哲学は何のためにあるか— 学生の手紙によせて—

二 倫理学は可能か—この問と現代の精神的状況—

三 現代における人間の問題

四 自己、結婚および親子

五 こころの問題と政治的イデオロギー

六 現代教育の盲点

一 宮沢賢治晩年の手紙によせて—

ほか

ためし読み



◆宗教の行方——現代のための宗教十二講

八木誠一著・四六判・382頁・3,520円・ISBN:978-4-8318-1061-8

【宗教哲学】

言語化=情報化により、「生」を見失った現代に、宗教は情報化されえない宗教的真実を現代に通じる言葉で語るべきと説く。宗教回復への道を示す最新講義。

■目次

序にかえて——宗教の行方ということ

第一講 序説——問題設定と講義の内容

第二講 生の表層・中層・深層

第三講 用語の説明

第四講 社会・コミュニケーション・エゴとニヒル

第五講 言語と情報——表層批判と言語批判

第六講 言語批判と宗教批判・近代批判

ほか

ためし読み



◆親鸞浄土仏教思想論 上・下

—— 大乘菩薩道の創造的統合と宗教経験論的分析

【仏教／真宗】

武田龍精著・A5判・1,384頁・19,800円[分売不可]・ISBN:978-4-8318-4151-3

十地経と十住毘婆沙論に説かれる如来十義と菩薩道十地を分析的方法論のカテゴリーとして施設し、親鸞聖人によって開顯された誓願一仏乗を聞思せんとした創造的考究書。

■目次

◆上巻

序論

第一章 空思想の基本的性格

第二章 浄土仏教思想の

原理的構造

第三章 如来の十義(Ⅰ)

第四章 如来の十義(Ⅱ)

◆下巻

第五章 如来の十義(Ⅲ)

第六章 如来の十義(Ⅳ)

ためし読み



◆講解 教行信証 全5巻

オンデマンド復刊

星野元豊著・A5判・[分売可]・ISBN:978-4-8318-6585-4～6589-2

【仏教／真宗】

宗教学者として高名な著者は、真宗の思想的・哲学的解明に力を尽くし、すでに多くの労作を著している。その中で本書は、著者の『教行信証』研究の集大成である。

① 教の巻・行の巻

466頁・8,800円

② 信の巻

656頁・11,000円

③ 証・真仏土の巻

574頁・11,000円

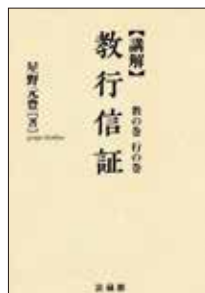
④ 化身土の巻・総索引

642頁・11,000円

⑤ 補遺篇

184頁・4,400円

ためし読み



※②～⑤のためし読みは法藏館ホームページへ

POD版は下記インターネット書店でのみ購入できます。

Amazon・三省堂書店オンデマンド・楽天

◆POD版 仲野良俊著作集

【仏教】

仲野良俊著・A5判・各8,250円[分売可]

ISBN:978-4-8318-9318-5、9319-2

親鸞浄土教の現代的意義を、大乘仏教の根本思想から明確に解き明かした仲野教学待望の集大成。

ためし読み



第1巻 唯識思想入門Ⅰ

240頁

第2巻 唯識思想入門Ⅱ

300頁

※第2巻のためし読みは法藏館ホームページへ

伝道掲示ポスター

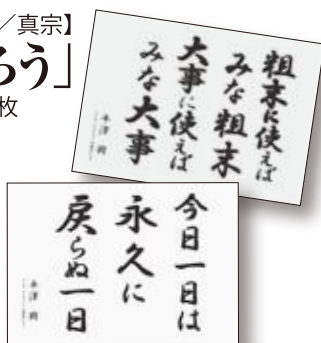
【仏教／真宗】

◆お寺さんの掲示板「さあ、がんばろう」

平澤 興ことば・B3判・セット内容：ポスター12枚+奉書紙1枚
4,180円・ISBN:978-4-8318-9934-3

人生、逃げたり迷ったり。でも「がんばろう」、
それは我慢ではなく、情熱の灯を絶やさないこと。

■ことば：生きるとは生かされること／平凡とは実は
尊い存在／望まない曇りの日が、晴れの日の喜び
をさらに大きくする／美しい新緑も、長い冬の準備
があってこそ ほか ※詳しくは12ページ



法蔵館重版案内

◆親鸞 左訓・字訓・語訓辞典

3刷

【仏教／真宗】

田代俊孝編・四六判・218頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-7027-8

親鸞聖人自身の言葉による真宗用語辞典が誕生！ 親鸞
聖人の著書の中に記された語註や用語説明を丹念に集め
た、聖人の言葉・遣い方の意図を知ることができる辞典。

■目次

序

凡例（編集方針／見出し・本文／出典）

底本一覧

（あ～わまで50音順に掲載）

あとがき



法蔵館刊行予定案内

〈2022年9月 刊行予定〉

◆ひとりふたり・・・——報恩講を迎える

四衢 亮編・A5判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1164-6

【仏教／真宗】

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。人気連載多数で、わかりやすく面白、参考
になる、気軽に読める、と好評です！

◆禅と自然

法蔵館文庫

【仏教】

唐木順三著・寺田 透、飯島孝良解説・文庫判・288頁・1,210円・ISBN:978-4-8318-2638-1

近代という無常の時代をいかに乗り越えるか。その克服の可能性を、逆に無常を徹底させ
ていく中世の禅思想に見出した卓異の論考を精選。

◆無神論

法藏館文庫

【仏教／哲学】

久松真一著・星野元豊、水野友晴解説・文庫判・272頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-2639-8

西洋の近代を超え、何ものにも縛られることのない「絶対的自律」へ至る道を考究し続けた久松真一。その哲学の核心を示す論考を集成。

◆聖武天皇——「天平の皇帝」とその時代

法藏館文庫

瀧浪貞子著・文庫判・384頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2640-4

【日本史／古代】

聖武天皇は本当に「ひ弱な天皇」だったのか？「天平の皇帝」たらんとしたその生き様を鮮やかに描き、旧来の聖武天皇像に見直しを迫る。

シリーズ宗教と差別(全4巻) 監修＝磯前順一・吉村智博・浅居明彦

◆第2巻 差別と宗教の日本史

——〈救済〉の可能性を問う

【宗教／社会】

佐々田悠、船田淳一、関口 寛、小田龍哉編・A5判・290頁・3,080円
ISBN:978-4-8318-5722-4

「聖なるもの」の失墜が差別を生んだのか？ 前近代・近代をつらぬく宗教と差別の構造を徹底して問い直し、「救済」の不可能性の先に、可能性の余白を読みとろうとする新たな試み。

◆中国仏教の経典解釈と思想研究

菅野博史著・A5判・522頁・13,750円・ISBN:978-4-8318-7094-0

【中国仏教】

主な大乘経典の翻訳及びその註釈書が競うように著された南北朝・随代。大乘経典がいかに思想的に位置づけられていたのかを精緻に論究。

◆チベットにおける仏教説話図の研究

大羽恵美著・B5判・296頁・14,300円・ISBN:978-4-8318-6353-9

【仏教美術／チベット】

チベットで流布した『アヴァダーナ・カルパラター』の説話図を文献、絵画、絵画様式等から論じ、チベット仏教説話図を解明する。

シリーズ大学と宗教Ⅲ [大正大学総合佛教研究所叢書36]

◆現代日本の大学と宗教

【日本史／近代史】

江島尚俊、三浦 周、松野智章編・A5判・480頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-5547-3

戦後の新制大学制度下において宗教者はどのように育成されたのか。近現代の宗教系大学を横断的に考察。

法蔵館書店新着案内

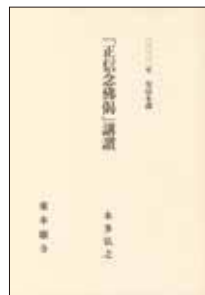
◆2022年安居本講「正信念佛偈」講讃

本多弘之著・A5判・156頁・4,400円(東本願寺出版)

2022年7月開講の安居本講のテキスト。

■目次

- | | |
|-----------------|----------------|
| 第一節 「正信念佛偈」について | 第六節 十二光 |
| 第二節 親鸞における「回向」 | 第七節 本願による仏道の成就 |
| 第三節 「正信偈」制作の意趣 | 第八節 如来興世の正意 |
| 第四節 如来の名号 | 第九節 五濁の群生への勧め |
| 第五節 法蔵菩薩(一) | 第十節 信心の可能根拠 |
| 法蔵菩薩(二) | ほか |



◆2022年安居次講『親鸞聖人伝絵』考察

東館紹見著・A5判・180頁・4,400円(東本願寺出版)

2022年7月開講の安居次講のテキスト。

■目次

- 第一章 覚如の生涯
- 第二章 『伝絵』の構成と諸本の特徴
- 第三章 『伝絵』制作の意図
- 第四章 『伝絵』各段の考察



◆ナゾトキ! 親鸞聖人ものがたり

佐藤慶樹著・A5判・110頁・1,980円(本願寺出版社)

僧侶を中心とする謎解き制作チーム「Toy×ボーズ」が提案するゲームブック。浄土真宗のキーワードを導くさまざまな謎を解いていさながら、親鸞聖人のご生涯とそのみ教えをたどります。かんたんななぞなぞから、順をおって難しい問題へとレベルアップしていくので、大人も子どもも、家族みんなで挑戦しましょう!



朝日選書1029

◆喜怒哀楽のお経を読む

釈 徹宗著・四六判・208頁・1,650円(朝日新聞出版)

現代人のかかえる悩み「恐れ」「怒り」「笑い」「悲哀」「老・病・死」をめぐる、多様な思想をたくわえるお経のエッセンスを紹介し、ときに『日本霊異記』、『薔薇の名前』まで手をのばして、問いかけと答えでやさしく展開する。仏教の知恵まんさいの処方箋。



◆道元の〈哲学〉—— 脱落即現成の世界

竹村牧男著・四六判・310頁・3,520円(春秋社)

道元の生涯から、仏教の根本問題ともいえる生死の見方、宋にわたるきっかけともなる本覚思想への疑問に対する修証観、不立文字の禅において『正法眼蔵』を書き続けた背景にある言語観、存在と密接に関係する時間論、脱落即現成の世界と坐禅観、見性批判を丸ごと解説。あわせて鈴木大拙の道元観も論じる。



岩波新書 新赤版1933

◆空海

松長有慶著・新書判・246頁・968円(岩波書店)

自然観、無限と有限、対立と融合、自と他。さらには教育理念、国家観。そして生と死……。弘法大師・空海の先駆的な思想を、密教研究の第一人者で、みずからも高野山に暮らす著者が、空海の手記した多くの書物、手紙などをもとに多角的に解き明かす。ロングセラー『密教』『高野山』に続く、第三弾。



ちくま新書1662

◆インド宗教興亡史

保坂俊司著・新書判・266頁・968円(筑摩書房)

国民の約八割が信仰するヒンドゥー教と、少数派とはいえ有力な宗教が同居するインド。いく筋もの支流が集まり大河となるように、枝から延びる木根が幹となって大樹になるパニヤンのように……。仏教、ジャイナ教、ゾロアスター教、シク教、キリスト教、イスラム教など、ヒンドゥー教の歴史的ライバルとの対立や融和の関係から、インド文明を読み解く。



◆仏教漢語 語義解釈

—— 漢字で深める仏教理解

船山 徹著・四六判・366頁・3,960円(臨川書店)

言葉は思考の拠り所であり、思考と表現に影響を及ぼす——南北朝隋唐から北宋にかけての仏教思想の根幹にかかわる50の漢語について、漢語の伝統的語義解釈と、インドの原典のその語の意味と用例を対比させ、中国・インド双方から二重の意味を付与された漢字仏教語の価値を究明する。



中公文庫ひ-19-6

◆般若心経——生まれ変わる

ひろ さちや著・文庫判・225頁・858円(中央公論新社)

自分の弱さを知り、あるがままを受け入れ無理して頑張らないで生きよう。般若心経の世界をQ&Aでわかりやすく答える。

ひろさちやさんの最期のメッセージ。



ひろさちや仏教名作選3

◆仏の世界と輪廻の世界

ひろ さちや著・四六判・225頁・1,980円(佼成出版社)

「嘘つきは地獄で閻魔さんに舌を抜かれる」「四苦八苦」「馬の耳に念仏」「袖すり合うも他生の縁」仏教の考え方が諺となって日常生活にはいつているもの。帝釈天や鬼子母神といった仏教とともに伝来したインドの神さまなど。それがどんな意味をもっているかを明らかにする。少し調べてみるといろいろ面白いことがある。



◆西田哲学 「世界新秩序の原理」を読む

—— 善(宗教=心の作用・心の内容)とは
一言にていえば人格の実現である

浅井進三郎著・四六判・137頁・1,100円(東京図書出版)

西田幾多郎『世界新秩序の原理』から読み取るべき重要な内容とは。前著『西田哲学「場所的論理と宗教的世界観」を読む』の続編。



◆格差社会の宗教文化 ——「民衆」宗教の可能性を再考する

熊田一雄著・四六判・188頁・1,760円(風媒社)

弱肉強食の論理を助長する新自由主義に対して、いかなるオルタナティブが可能なのか。明治日本の宗教界にあった「俠気」の現代的意味を探り、天理教の事例に「暴力をやわらげる方法」の手がかりを見出すなど、「民衆」宗教と社会の関係をときほぐす。



◆宗教芸能としての能楽

高橋悠介編・A5判・273頁・3,300円(勉誠出版)

能作品には、中世の寺社のありようや信仰、学問、宗教文化が反映されているが、その宗教的な背景は、未だ十分に明らかにされていない部分が多い。中世日本の宗教的な知は、どのように能楽に流れ込み、作品世界を形成していったのか。能作品や能楽論の中の仏教や神祇に関わる面を掘り下げること、宗教芸能としての能楽について考えるとともに、能を通して、室町の宗教文化の一端を明らかにする。



◆祇園祭の物語

小谷野裕子著・四六判・289頁・2,200円(春風社)

20年以上にわたって祇園祭の取材を重ねてきた著者が、その魅力と歴史を語る。

伝統文化を守り支える人たちの姿を活写！



ちくま新書1659

◆日本人の神道—— 神・祭祀・神社の謎を解く

島田裕巳著・新書判・234頁・946円(筑摩書房)

開祖もいなければ、教義もない、そして救済もない神道。「ない宗教」としての神道の本質を見定め、日本人が神道とどのように関わってきたかを明らかにし、神道における神や祭祀、信仰のこれからのあるべき姿を考える。



◆葬式消滅—— お墓も戒名もいらない

島田裕巳著・四六判・207頁・1,760円(G.B.)

自然葬、海洋葬を実際に行ない、葬送の自由を進めてきた著者・島田裕巳氏。コロナ禍を経て、直葬(じきそう/ちよくそう)などお葬式の規模はますます簡素で小さくなってきました。見送る遺族はお骨を持ち帰らないという葬儀もいよいよ出現。『0葬』、『葬式は要らない』と葬送に変化を与えたヒット本に続く、葬送の在り方を考えさせられる本です。



◆死と歴史【新装版】—— 西欧中世から現代へ

フィリップ・アリエス著・伊藤 晃、成瀬駒男訳・四六判・294頁
5,170円(みすず書房)

12世紀から今までの、人間の禁忌のテーマ「死」「死を前にしての態度」について、その変わった部分と変わらない部分、そして20世紀の産業化・都市化の果ての未曾有の断絶について考察する。死生観が揺らぎ続けている現代に、本書から歴史に学び、俯瞰する視点を読み取ることができるであろう。



◆ビッグ・ゴッド

—— 変容する宗教と協力・対立の心理学

アラ・ノレンザヤン著・藤井修平、松島公望、荒川 歩監訳
A5判・313頁・4,180円(誠信書房)

人類が狩猟・採集社会から大規模な農耕社会へ急速に変化することができたのはなぜか。この問いに、人々を監視し罰する「ビッグ・ゴッド」の信仰の広がり社会の拡大に寄与したという説を提示することで、解答を試みる。宗教学や心理学の代表的な学術雑誌が多数のレビューを寄せ、本書の説を検証する論文が『ネイチャー』誌に掲載されるなど、大きな注目を集めた書の待望の翻訳。



◆妖怪の誕生

—— 超自然と怪奇的自然の存在論的歴史人類学

廣田龍平著・A5判・386頁・4,400円(青弓社)

カッパ、カマイタチ、くねくね……私たちはなぜ、それらを妖怪と呼ぶことができるのか。18世紀末から現代までの自然／超自然、近代／非近代をめぐる議論、日本の知識人の言説や学知を渉猟して、現代の妖怪概念が生成してきた過程を丁寧に分析。妖怪と妖怪研究の関係性を、存在論的転回の人類学の視点から批判的に検証する。



◆魔法少女はなぜ変身するのか

—— ポップカルチャーのなかの宗教

石井研士著・四六判・308頁・2,640円(春秋社)

まどか☆マギカやプリキュアの華麗な変身。でも魔法使いサリーは変身していなかった。「らき☆すた」のかがみとつかさ、ラブライブの希など巫女が多いのはなぜ？

アニメ・マンガに溢れる宗教表象とその変遷をたどり、現代文化と宗教性の絡みあいを解く。



◆私たちはまだマインドフルネスに 出会っていない

——心理学と仏教瞑想による創発的対話

杉浦義典、井上ウィマラ著・四六判・262頁・2,640円(日本評論社)

マインドフルネスの起源である仏教瞑想と知見を深めつつある心理学。それぞれの視点から生きるとは何か、「私」とは何かを考える。



隔週刊古寺行こう

◆長谷寺 室生寺 8

◆平等院 9

各A4変判・42頁・770円〈小学館〉

長谷寺 室生寺 8……奈良大和路の花の御寺「長谷寺」、幽谷の隠れ里で女人高野と呼ばれた「室生寺」。屈指の名利の建物・寺宝をたっぷり紹介します！

平等院 9……藤原頼通が祈りを込めて創建した壮麗な伽藍や、定朝が手掛けた国宝・阿弥陀如来像をはじめとする寺宝の数々を、美麗なカラー画像で徹底解説。



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 8月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎インタビュー ラサール石井さん(タレント)
- ◎特集 非戦の声をあげ続ける
- ・追悼……中村 哲さん
- ・親鸞万華鏡……ゲスト:金城 実さん

ほか

◆大乘 8月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ・ご機言!お寺の掲示板……江田智昭
- ・マンガ お釈迦さま物語
- ……岡橋徹栄×一瀬かおる
- ・教えて!浄土真宗……藤澤信照

ほか

特集1 法藏館の伝道ポスター

耐水性
ポスター

第2弾 8月発売!

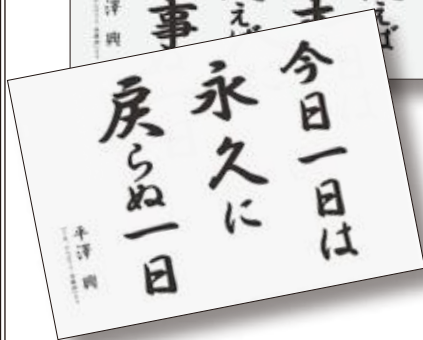
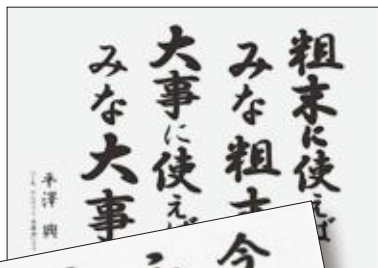
お寺さんの掲示板「さあ、がんばろう」

平澤 興ことば・4,180円(9934)

サイズ:B3判(36.4cm×51.5cm) セット内容:ポスター12枚+奉書紙1枚



人生、逃げたり迷ったり。でも「がんばろう」、
それは我慢ではなく、情熱の灯を絶やさないこと。



引用書籍

「さあ、がんばろう」

平澤 興著・四六判・254頁

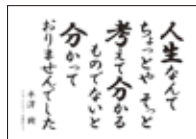
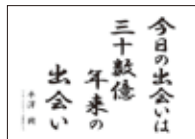
2,420円(8037)1988刊

15刷



250部限定

掲示板「さあ、がんばろう」ご購入の方
ポスターもう1枚プレゼント!



※プレゼントは選べません。

ことば: 生きるとは生かされること／平凡とは実は尊い存在／望まない
曇りの日が、晴れの日の喜びをさらに大きくする／美しい新緑も、長い
冬の準備があってこそ／時には弱点がむしろ味になる ほか

伝道掲示ポスター 第1弾 好評発売中!

お寺さんの掲示板「観経のころ」

正親含英ことば・4,180円(9932)

ことば: 張り詰めた強さはときに破れやすい／みんなの人が
助かるように それが仏さまのころ ほか

引用書籍

新装版「観経のころ」

—— 歎異抄の背景にある ——

正親含英著・1,650円(6561)



揭示伝道の参考に！

法藏館の法語・法話集

伝道揭示にすぐ使える標語や、一話2～3頁の法話集。

◇三分間法話集

松井恵光著・四六判・139頁・1,320円(8910)

短くても心に響く法話を聞かせてほしいという声にこたえて、法話の大家が書き下した短篇法話の決定版。冒頭でお聖教からの言葉を引き、念仏の心をわかりやすく説き明かす。



◇風の声・竹の声—— 800字法話+揭示伝道

伊奈教雄著・四六判・213頁・1,650円(8905)

◇風に聴く

—— 800字法話+揭示伝道

伊奈教雄著・四六判・232頁・1,760円(8900)

1話2ページ完結で、暮らしのなかでお念仏に救われるよろこびと生きる意味を綴った、味わい深い短編法話集。各編に揭示伝道法話付。



◇ひとくち法話 いま伝えたい言葉

中村 薫著・四六判・152頁・1,430円(8708)

◇ひとくち法話

—— 知っておきたい言葉たち

中村 薫著・四六判・144頁・1,430円(8773)

心に響く仏教者や哲学者らの名言から、現代の問題を照らした短編法話集。見開き右ページに法語、左ページに法話を掲載。



特集2

法藏館書店 2022年・上半期売行ベスト20



生死出づべき道——コロナの時代、 私たちはいかに生きるべきか

一楽 真講述・A5判・45頁・200円〈真宗大谷派大阪教区第十二組〉

今年4月に大谷大学の学長に就任された一楽先生が堂々の1位！ ご講師を務められた6月の中外日報「宗教文化講座」でも、会場で多くの方にお買い上げいただきました。



解説教行信証 下巻

真宗大谷派教学研究所編・A5判・360頁・4,180円〈東本願寺出版〉

上巻発売から10年を経て突如刊行。待ち焦がれていた方からすっかり忘れ去っていた方まで幅広くお買い上げいただき、上巻とセットでのお買い上げも目立ちました。



親鸞 左訓・字訓・語訓辞典

田代俊孝編・四六判・218頁・3,300円〈法藏館〉7027 [3刷]

皆さん中身を見たらその便利さに抗えないようで、5月の発売から僅か2ヶ月でベスト3入り！ 多くの方から「画期的！」「こんな本を待っていた」という声をいただいています。

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
4	お寺の掲示板——諸法無我	江田智昭	新潮社	1,100円
5	真宗と現代葬儀——「葬儀」と「死」のゆくえ	蒲池勢至	法藏館 6269	1,430円
6	ねえ、お坊さん教えてよ 死んだらどうなるの？	岡崎秀麿 富島信海	本願寺出版社	1,760円
7	親鸞の出遭った世界 浄土真宗Ⅱ	平野 修	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
8	ねえ、お坊さん教えてよ どうしてお葬式をするの？	岡崎秀麿 富島信海	本願寺出版社	1,760円
9	今日の宗教の可能性	大峯 顯	百華苑	1,320円
10	安慰の大道——追悼 寺川俊昭先生	寺川俊昭先生を 偲ぶ会	寺川俊昭先生を 偲ぶ会	1,000円
11	溶け合う世界へ——南無阿弥陀仏のすくい2	瓜生 崇	響流書房	110円
12	親鸞に聞く 大無量寿經の意Ⅳ	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
13	親鸞の出遭った世界 浄土真宗Ⅰ	平野 修	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
14	浄土真宗とは何か——「教行信証」のころ	金子大榮	東本願寺出版	825円
15	阿弥陀經を読む——生きる道をたずねて	三浦真証	仏教教育出版	2,200円
16	地獄と浄土、どちらへ行きたいですか？——私が私から 解放される世界	瓜生 崇	サンガ伝道叢書	550円
17	考える親鸞——「私は間違っている」から始まる思想	碧海寿広	新潮社	1,595円
18	法話のきほん	伊東恵深	法藏館 8776	1,430円
19	南無阿弥陀仏のすくい	瓜生 崇	響流書房	110円
20	お寺の掲示板	江田智昭	新潮社	1,100円

お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店 協賛

テーマ：「生死の苦海を渡る——生誕850年記念 親鸞聖人に聞く」

第2回 リモート可 9月24日(土)「あなたがあなたのままで輝く
——「苦海を渡る」すくいとは」

〈龍谷大学響都ホール校友会館(JR京都駅八条口、徒歩5分)・定員:150〉

真宗佛光寺派大行寺住職 英月氏

第3回 リモート可 10月8日(土)「時代を生きた親鸞」

〈京都テルサ(京都市営地下鉄烏丸線九条駅4番出口、西へ徒歩5分)・定員:168〉

大阪大学・京都先端科学大学名誉教授 平 雅行氏

第4回 リモート可 11月26日(土)「比較思想から見た親鸞聖人」

〈京都テルサ(京都市営地下鉄烏丸線九条駅4番出口、西へ徒歩5分)・定員:168〉

相愛大学学長 釈 徹宗氏

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722 Eメール:shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

招待券プレゼント!

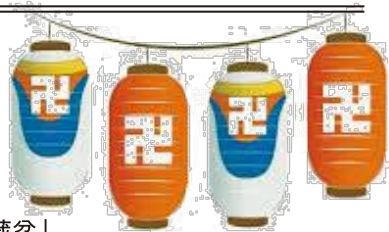
中外日報宗教文化講座へ
5名様ご招待。

- 応募条件 法蔵館書店へ招待券を取りに来られる方。
- 締切 8月31日(水)23時59分到着分まで。
- 応募方法 メール(p@hozokan.co.jp)で表題を「招待券希望」とし、お名前、e-mailアドレスを記しご応募ください。

※招待券1枚につき全3回ご参加いただけます。(リモート参加可)

※抽選の上、当選者様にメールにてお知らせいたします。

京都の夏の風物詩 「地蔵盆」



京都および近郊の府県で、

地蔵菩薩の縁日として8月24日前後に行われる「地蔵盆」。

しかしその歴史についてはあまり知られていません。本書は丹念な調査により地蔵盆の秘密に迫った、画期的な一冊です。

◆京都地蔵盆の歴史

村上紀夫著

四六判・232頁・2,200円(法蔵館)6237



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(7月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	親鸞 左訓・字訓・語訓辞典	田代俊孝	法藏館	3,300円
2	生死出づべき道——コロナの時代、 私たちはいかに生きるべきか	一楽 真	真宗大谷派 大阪教区第十二組	200円
3	地獄と浄土、どちらへ行きたいですか?——私が私から 解放される世界	瓜生 崇	サンガ伝道叢書	550円
4	2022年安居本講『正信念佛偈』講讀	本多弘之	東本願寺出版	4,400円
5	2022年安居次講『親鸞聖人伝絵』考察	東館紹見	東本願寺出版	4,400円
6	解説教行信証 下巻	真宗大谷派 教学研究所	東本願寺出版	4,180円
7	【教行信証化身土巻講義】親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅱ	平野 修	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
8	親鸞に聞く 大無量寿經の意Ⅳ	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
9	阿弥陀經を読む——生きる道をたずねて	三浦真証	仏教教育出版	2,200円
10	明治維新と宗教【法藏館文庫】	羽賀祥二	法藏館	1,980円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

- ◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。
- ◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料
- ◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など
多数の特典をご用意しております。

詳しくはここをクリック 





法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



—【営業日および営業時間】—

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つぶやき中～!